

# 診ます会

## トピックス

- ・ASPを利用して（やさく医院 矢作祐一先生）
- ・糖尿病診療4人体制へ
- ・がん治療症例検討会の開始
- ・連携室が1Fに移動

## ▶ 新年度へ向けてのあいさつ 山形市立病院済生館 館長 平川秀紀

例年のない暖冬に終わりを告げ、梅の蕾も少しずつ膨らみを増しております。今日この頃ですが、先生におかれましては益々御隆盛のことと存じ上げます。

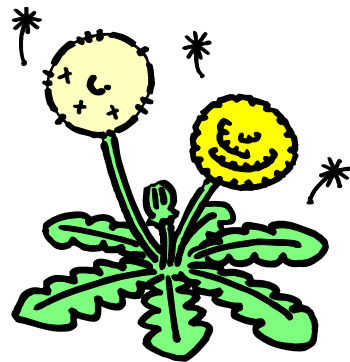
いつも格別の御厚情と御支援を賜りまして心より御礼を申し上げます。

昨年8月に厚生労働省より癌診療連携拠点病院に認定され、院内の体制の充実を図ってまいりました。4月より癌支援センターを開設し、患者様のニーズやセカンドオピニオンに対応してまいります。また、従来症例検討会を毎月開催してまいりましたが、新年度より隔月はがん治療症例検討会とし、癌治療に関しまして先生方と共同しながら適切な診断と治療を目指してまいりたいと思っております。他の月は生活習慣病を中心に内科、循環器科、小児科、脳外科、神経内科を中心に症例検討会を行い、検討会の質の充実を図ることになりました。先生方のご参加をお待ちいたしております。

患者様本位の病診連携の更なる充実を図るため、済生館のカルテ（画像、検査データを含む）を先生方に御利用いただけるシステムであります、ASP（Application Service Provider）を1月より本格的に稼働いたしました。ネット環境にあるパソコンをお持ちであれば、診療所から直接画像をはじめとする情報をご覧になれるシステムでございますので、是非御利用を賜り日常の診療にお役に立てただけであれば幸いです。詳細につきましては済生館の医療情報システム室か地域医療連携室までお問い合わせいただければ幸いです。

先日、御案内いたしましたが、精神科の外来は4月より当分の間休診になります。入院の患者様に対しては大学より応援をいただき従来と同様に精神的なサポートをさせていただきます。御賢察の程を宜しく申し上げます。

今後とも暖かい御支援と御指導を何卒宜しく申し上げます。



### 診ます会 平成19年度 総会について

平成19年度の診ます会総会について、下記のとおり日程が決まりました。開催が近づきましたら、改めて出席のご案内をお送り致します。

平成19年5月31日（木）午後6時30分～

## ASP（病診連携診療支援システム）を利用して



医療法人 やさく医院  
理事長 矢作 祐一

私は、山形市成沢で内科・胃腸科・外科医院を開業しております。日ごろより、山形市立病院済生館（以下、済生館）にはどんな面倒な患者さんでも快く受け入れていただき、心より感謝しております。

当院では、平成19年1月24日より済生館の電子カルテ閲覧システムを利用しております。このシステムの導入以来、すでに20名以上の患者さんが済生館のお世話になり、入院・外来カルテを閲覧させていただいております。当院のインターネット環境は、最新の光フレッツではなく旧式のADSL回線を利用したのですが、閲覧ソフトの動作速度は済生館館内の端末と遜色ありません。

私は、紹介した患者さんがうけた検査や治療内容をできるだけ早く知りたいと日ごろより考えています。山形市内の基幹病院はそれぞれ病診連携を進めるために努力しています。しかし、勤務医の業務は増えるばかりで、数ヵ月後に報告書をだすのがやっとなのです。残念なことに、最初の受診報告だけでその後の報告をいただけないこともしばしばあります。

済生館の電子カルテ閲覧システムは、医師診療録や検査データはもちろん看護記録や検温記録など電子カルテのすべてが閲覧できます。紹介医は、自分の医院にいるままCT画像や内視鏡検査結果を見ることができるようなのです。たとえば、肺炎で紹介入院した患者さんの胸部単純写真やCT像を見比べ、投与された薬剤の効果を実感することができます。

済生館が電子カルテ閲覧システムを導入した英断に、わたしは本当に驚きました。多くの医療機関が診療内容について情報公開を行なっています。手術症例数や手術成績を公開することは大切です。しかし、診療内容を具体的に公開することの大切さはそれ以上に重要です。医療過誤がおきるかもしれないと考えれば、スタッフの多くはこのシステムの導入に反対したと推察します。済生館は診療内容に自信があり今後さらにレベルアップできると期待し、このシステムを導入するよう決断したのだと思います。かかりつけ医は、済生館で行なわれている日々の診療内容を具体的に知ることによって、さらに厚い信頼を病院主治医に寄せることができるようになるのです。

これこそが、本当の病診連携を進める重要な足がかりであると私は確信します。これからも、この電子カルテシステムを大いに利用させていただきたいと思っています。





## 糖尿病診療 4 人体制へ ～平成 19 年 4 月から～

済生館副館長兼第一診療部長 野村 隆



済生館では 19 年 4 月から内科の糖尿病診療担当医師が 2 名から 4 名に増員されます。

厚生労働省の新たな医療提供計画の課題の一つである生活習慣病対策を充実させるために東北大学医学部糖尿病代謝科の岡芳知教授のご高配を得て坂田芳之医師、山田高弘医師が着任することになりました。医師数倍増により 4 月からは当院の糖尿病診療体制がいっそう充実しますのでご案内申し上げます。

### 1. 糖尿病新患外来の増設

これまでは糖尿病内分泌担当医師の新患外来は火、水曜日でしたが、これからは毎日糖尿病担当医師が新患の患者さまを診させていただくことができます。ご紹介の折は、“糖尿病担当医”宛としていただきますと患者さまにご不便をおかけすることなく糖尿病担当医師の外来予約となります。

### 2. 地域連携医療の推進

糖尿病担当医師は増員されますが、外来診療につきましてはこれまでと同様にコントロール困難な患者さま、慢性腎不全など重症の合併症をお持ちの患者さまなど専門的診療が必要な患者さまが中心となります。糖尿病の診療は連携が前提ですので診ます会糖尿病分科会で合意をいただいて作成しました“糖尿病連携手帳”を活用して、これまで以上に先生方との連携を深めて行きたいと思っております。ご紹介いただきました患者さまはコントロールがつかない先生方の診療所でご診療をお願いすることになりますのでよろしくお願いいたします。

### 3. 糖尿病入院診療の充実

現在、当院では電子クリニカルパスによるコントロール教育入院を中心に入院診療行っておりますが、金曜入院、日曜退院の週末 3 日間パス入院を開始予定です。お仕事の都合上、なかなか 1-2 週間の入院期間をつくれない患者さまにご利用可能かと思っております。また、糖尿病診療では自己管理能力を養う学習が欠かせませんが、医師による糖尿病教室が充実されます。

### 4. 院内連携の強化（他科入院患者の血糖コントロール）

糖尿病の患者さまでは、腎症、網膜症、末梢神経障害以外にもたくさんの合併症を引き起こされます。当院でも脳心血管系疾患で入院される患者さまの多くが糖尿病や耐糖能障害を基礎疾患としてお持ちです。また、外科系疾患や肺炎などの感染症で入院される患者さまの周術期や感染コントロールの上で血糖コントロールは重要です。これまでは多くの他科入院患者さまの血糖コントロールを手掛けるのは困難でしたが、糖尿病担当医師の増員により他科病棟への“コントロールツアー”が可能となり、糖尿病のある患者さまも安心・安全に手術などの診療をお受けになることができます。

### 5. 患者さまの糖尿病学習支援

18 年度も一度開催させていただきましたが、先生方が診療されている患者さまに糖尿病教室を開催させていただきます。また、糖尿病協会活動への参加も進めて行きたいと考えております。

以上が現時点で予定している 4 月からの当院の糖尿病診療体制ですが、診ます会の先生方のご要望に応じて、さらに充実した診療を検討して行きたいと思っております、先生方のご協力、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

## 済生館がん治療症例検討会 ～ご案内～

済生館は地域がん診療連携拠点病院の認定を受け、がん診療機能の向上に努めておりますが、その一環として「がん治療症例検討会」を発足する運びとなりました。

がんの集学的治療や総合的なケアなど当院におけるがん診療の質の向上をめざします。

また、診ます会の先生方と共に紹介患者中心の症例検討を行い、がんの連携医療を研修（在宅緩和ケア、診療所での化学療法、術後フォローアップなど）したいと思っております。

がん症例検討会の運営は世話人会（代表 守本和弘外科長）で行いますが、できるだけ診療所の先生方のご意見・ご要望を取り入れさせていただくためにがん診療に携わっている診療所の先生方にも世話人になっていただくことになりました。外科、放射線科、消化器科、呼吸器科、血液内科、泌尿器科、産婦人科ならびに耳鼻咽喉科が中心となります。

先生方におかれましては日常診療のお忙しい中たいへん恐縮ですが、ぜひご出席いただきたくご案内申し上げます。

がん治療症例会の開催日は、従来の内科系症例検討会を 2 分し、平成 19 年 5 月、7 月、10 月、平成 20 年 1 月、3 月の第 2 水曜日午後 7 時からとなりますが、その都度県医師会広報誌に掲載させていただきます。

なお、従来の症例検討会は平成 19 年 4 月、6 月、9 月、11 月、平成 20 年 2 月と交互の開催で循環器科、糖尿病内分泌腎臓内科、神経内科、小児科、脳神経外科、整形外科で担当させていただきますのでよろしくお願いいたします。

済生館がん症例検討会

5 月 9 日（水）

7 月 1 日（水）

済生館症例検討会

4 月 1 日（水）

6 月 1 日（水）

### 地域医療連携室が 1F へと移動します。

平成 19 年 4 月 1 日より、連携室は 1 階へと移動します。  
新しい予約票を近日お送り致しますので、今後ともよろしく  
お願い致します。

